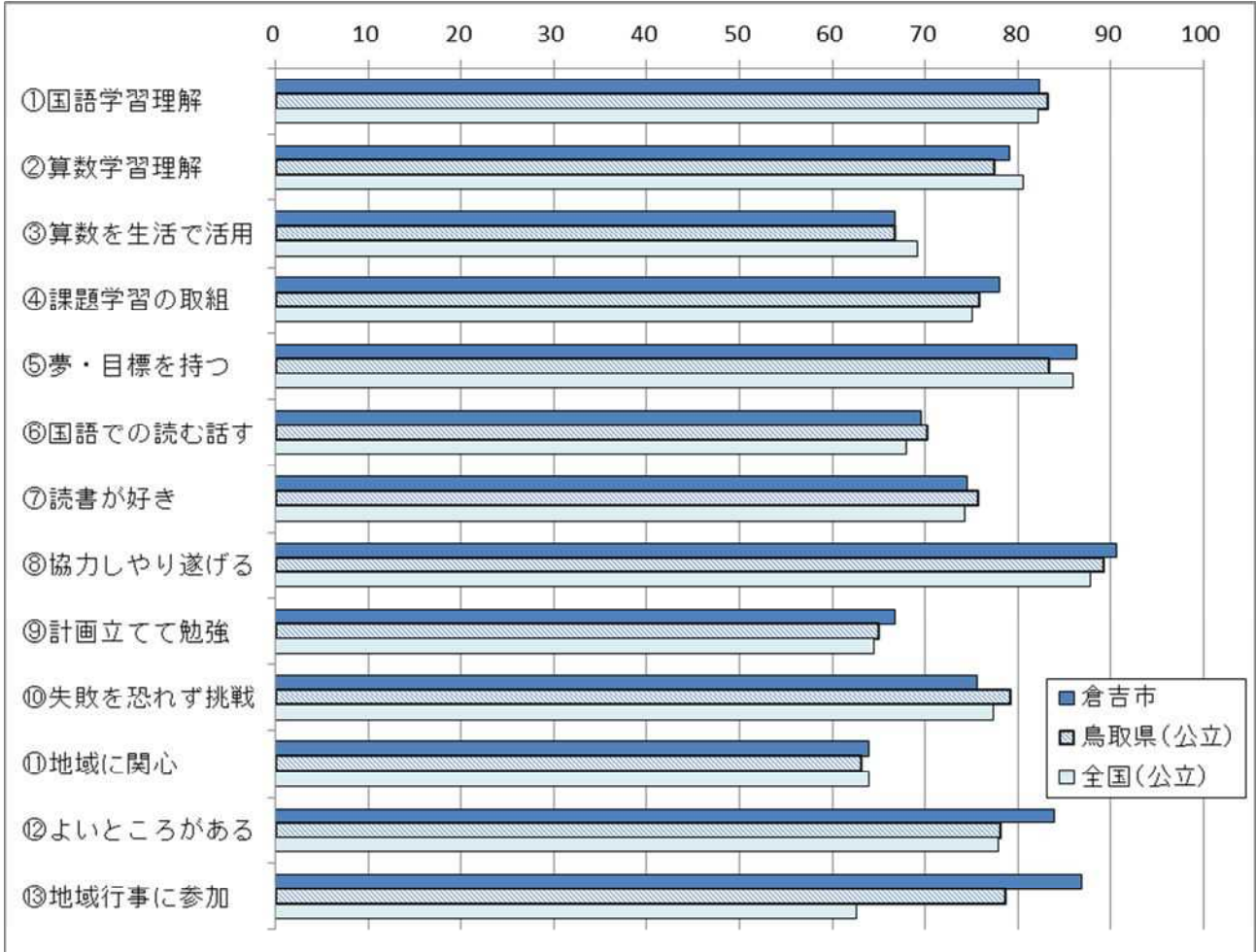


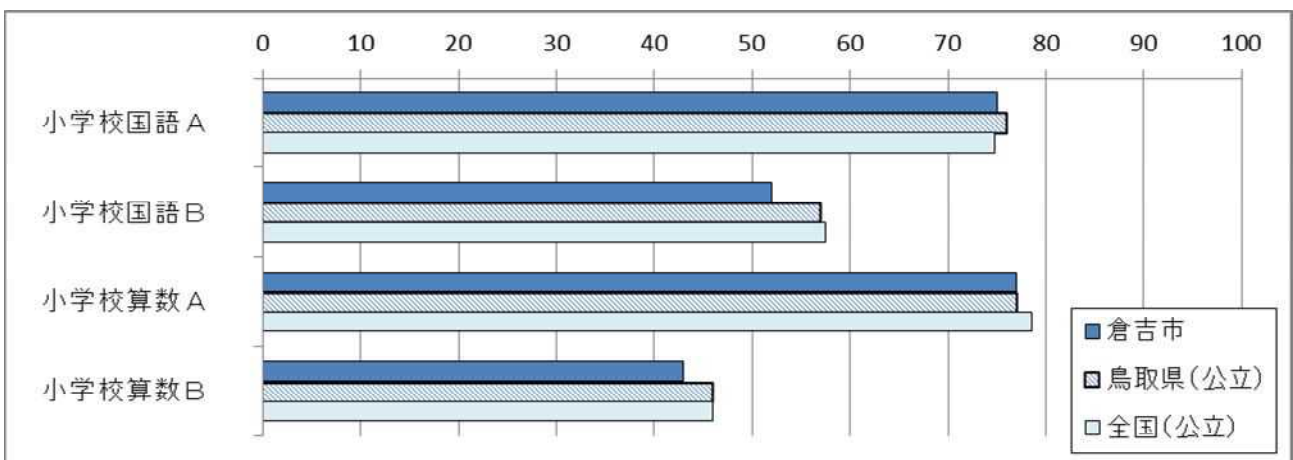
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

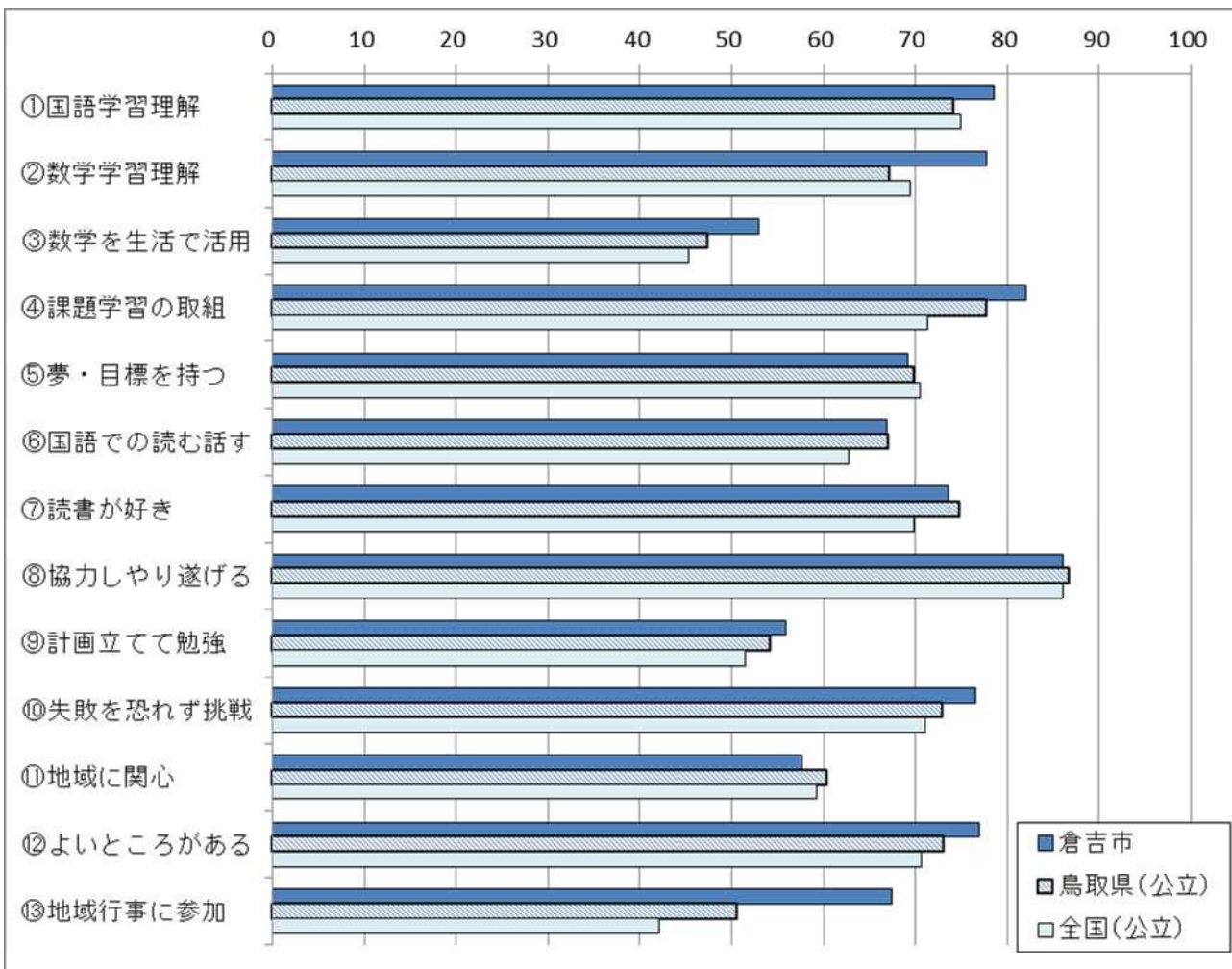


◇質問紙調査において、「自分にはよいところがある」「地域の行事に参加している」と回答している児童の割合が、全国に比べ高かった。その他の項目については全国に比べ、大きく高いものや低いものはなかった。

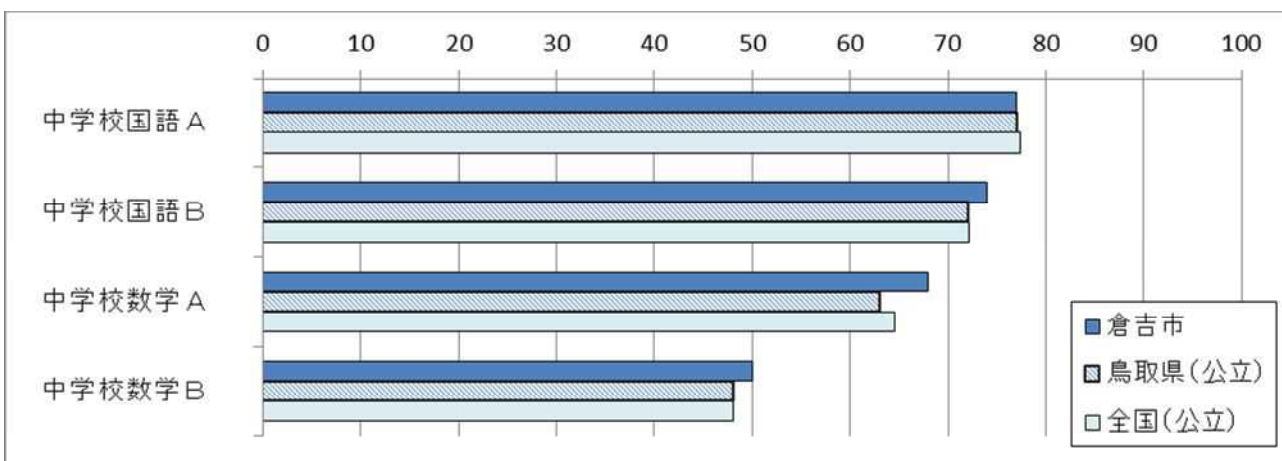
◇教科に関する調査では、国語B、算数A、B問題で全国を下回り、両教科の活用する力に課題が見られるとともに、算数については知識・技能の定着にも課題が見られた。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

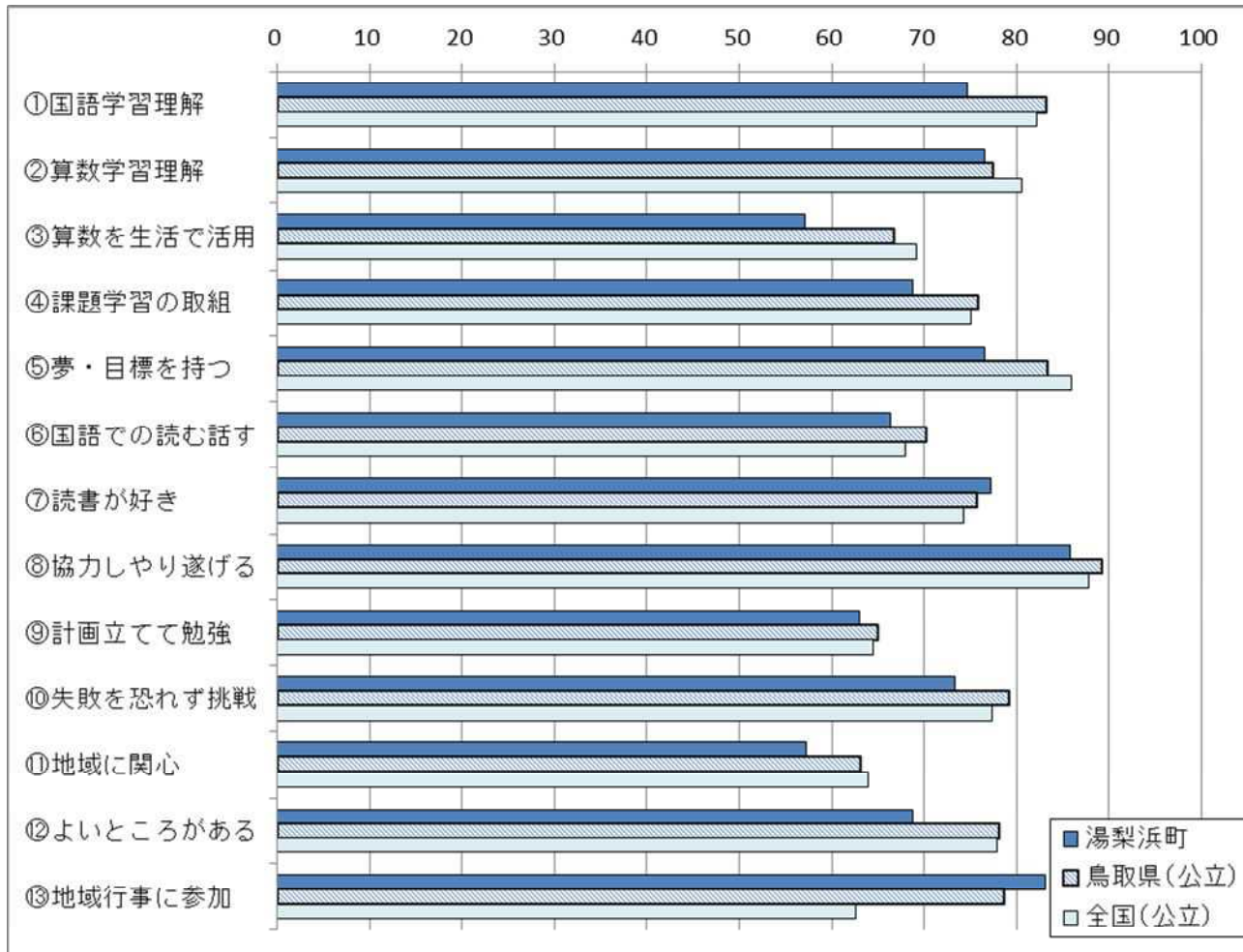


◇質問紙調査について、望ましい回答の割合が13項目の内10項目で全国より高い。特に「数学の授業の内容はよく分かる」「自分たちで課題を立てて、話し合う等の活動に取り組んだ」生徒の割合は8ポイント以上高く、教科に関する調査でも数学A、Bともに全国平均正答率を上回っていることから、知識・技能の定着や活用する力の育成に向けた授業改善が進んでいると考えられる。

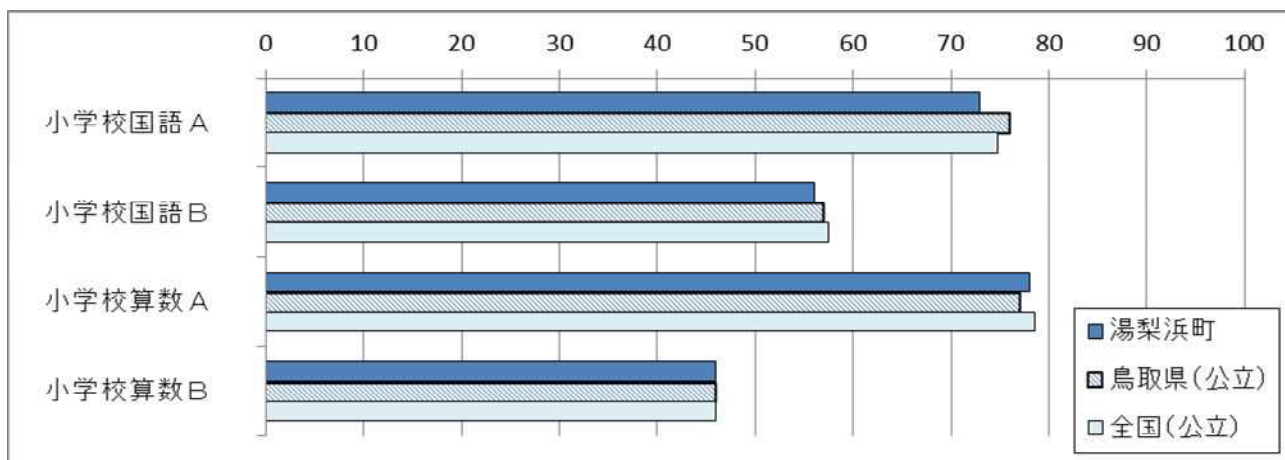
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



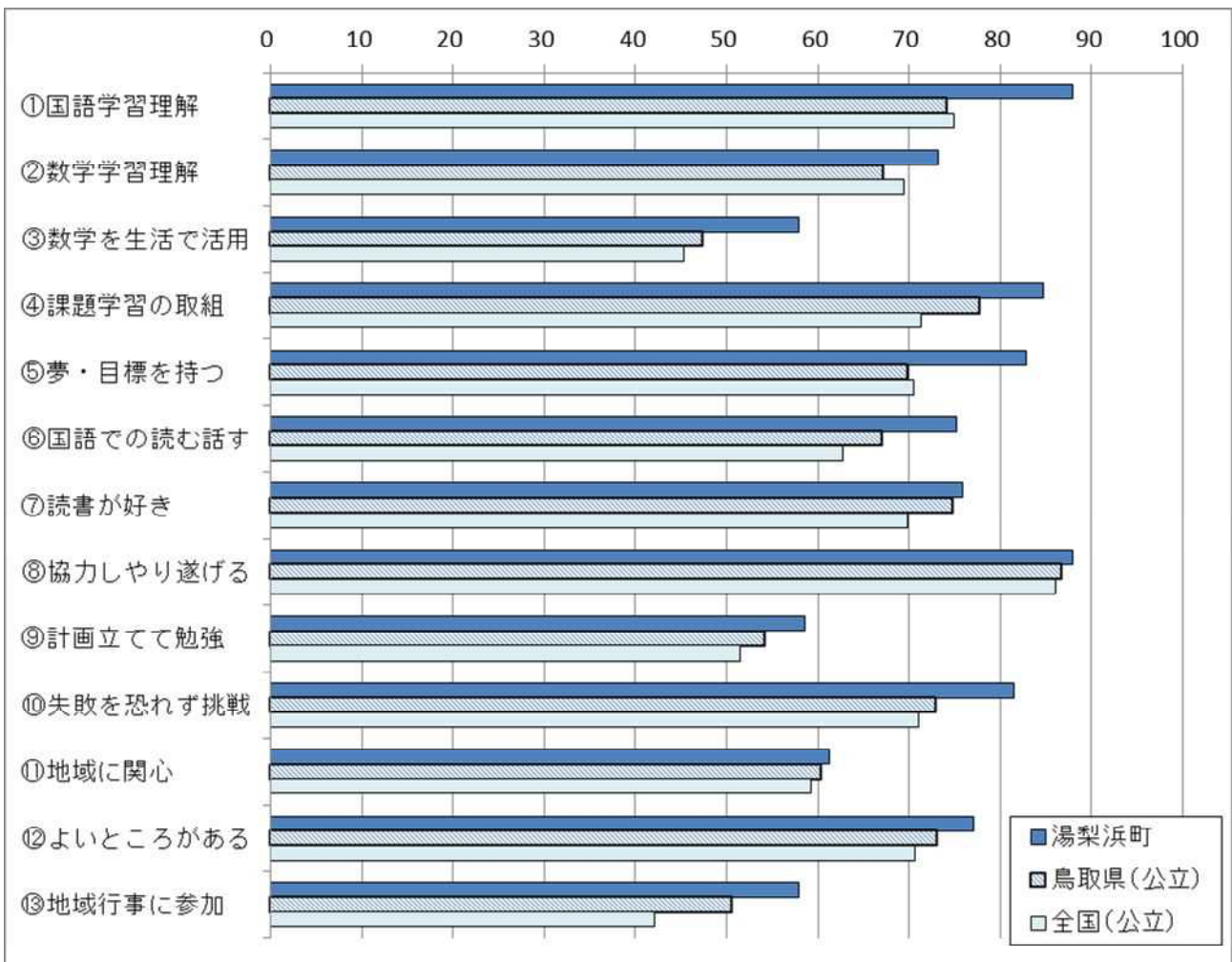
■教科に関する調査



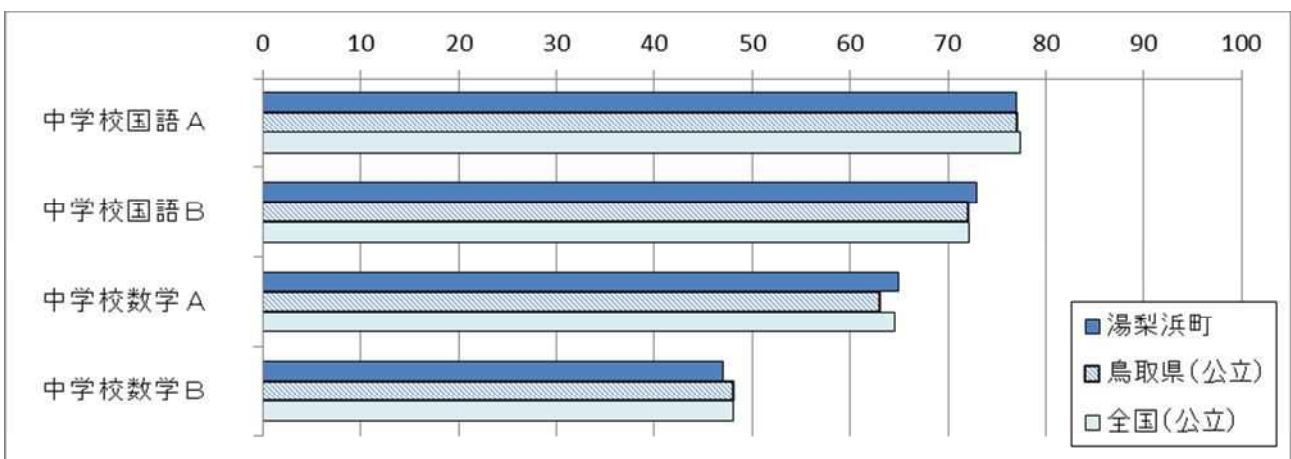
- ◇質問紙調査で「夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」等の項目で全国の割合よりも低い結果となっており、自己肯定感を高める関わりの充実が考えられる。
- ◇「地域行事に参加」する児童の割合が、全国よりも高い結果となっている。
- ◇教科に関する調査では、国語A、B問題で全国平均正答率を下回り、算数も全国と同程度である。「授業の内容がよく分かる」と回答している児童の割合が、国語、算数ともに全国に比べ低いことから、授業改善の取組が重要である。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

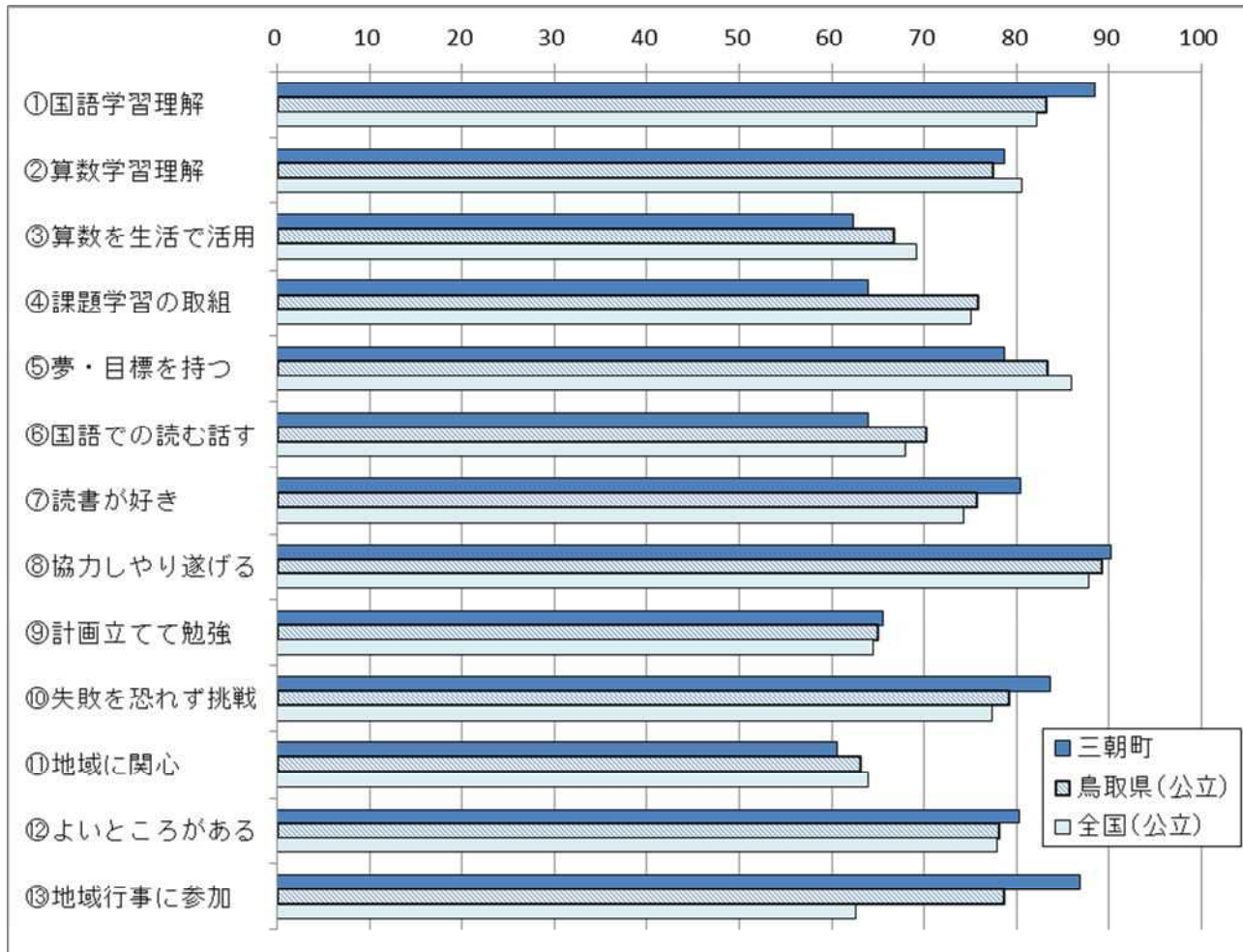


◇質問紙調査では、13項目全てで、望ましい回答の割合が全国よりも高く、学校生活に対して満足している生徒が多いと考えられる。
 ◇教科に関する調査では、数学Bで全国平均正答率を下回り、その他は全国と同程度であったことから、活用する力の育成に向けて授業改善の取組を続けていく必要がある。

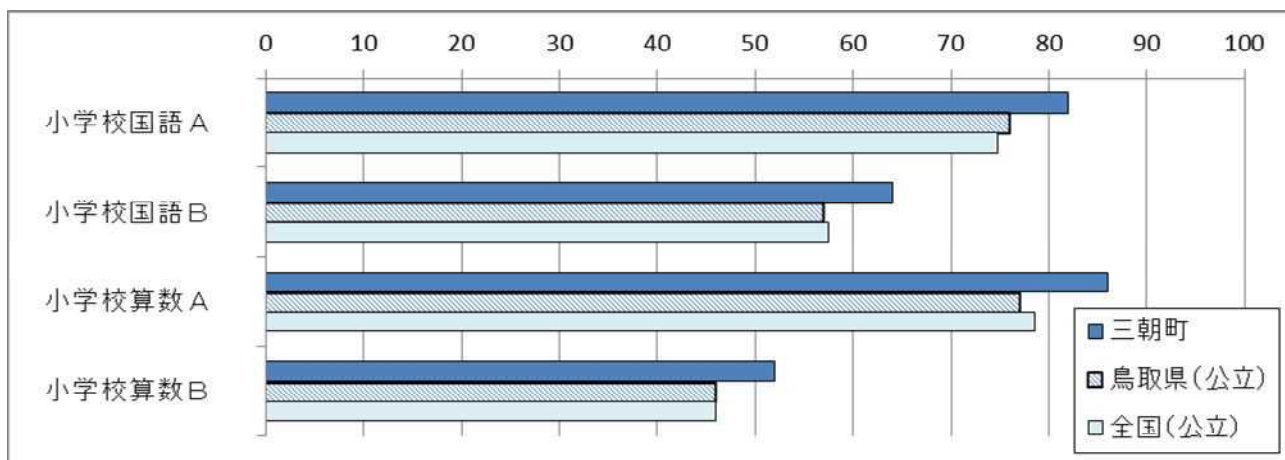
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



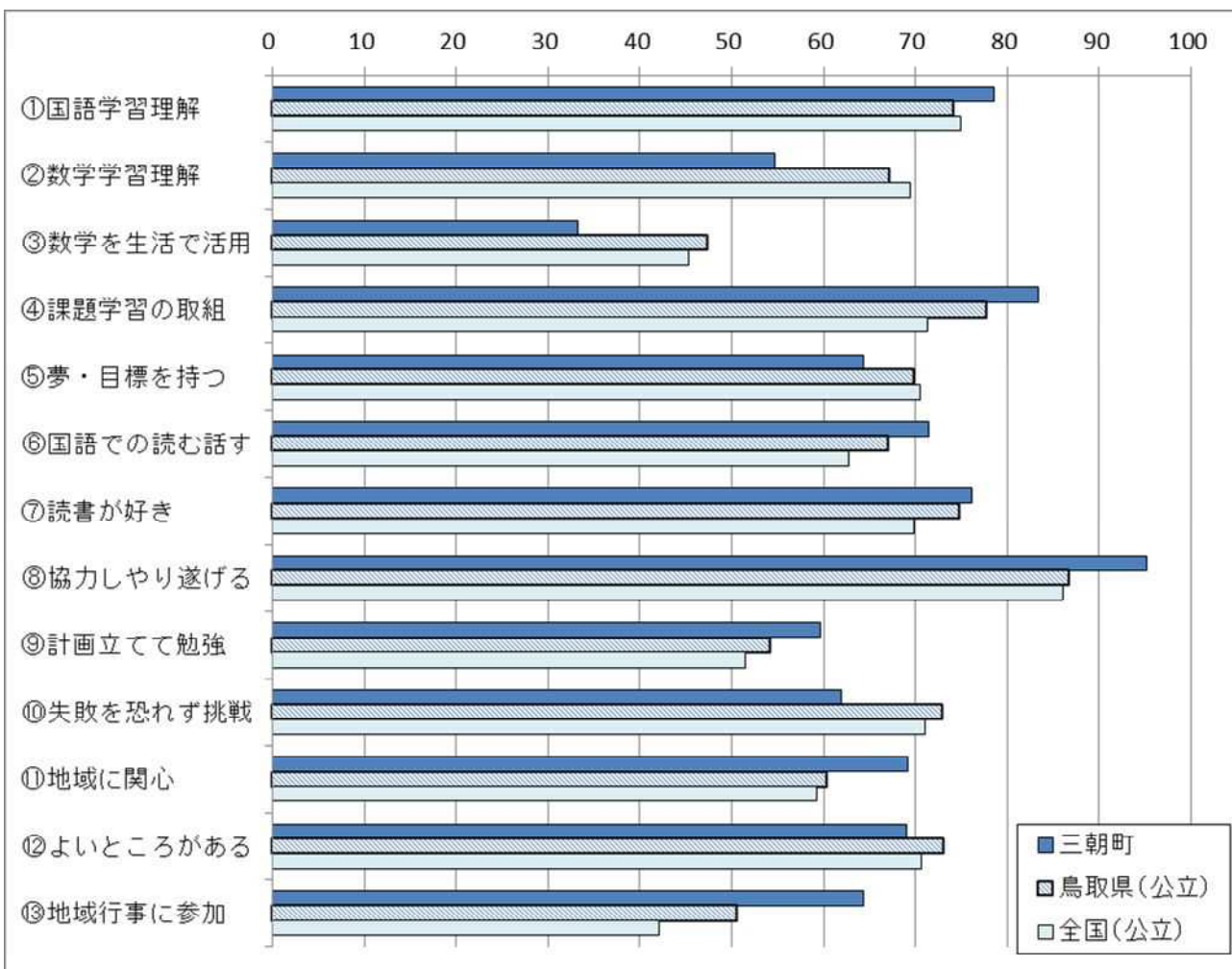
■教科に関する調査



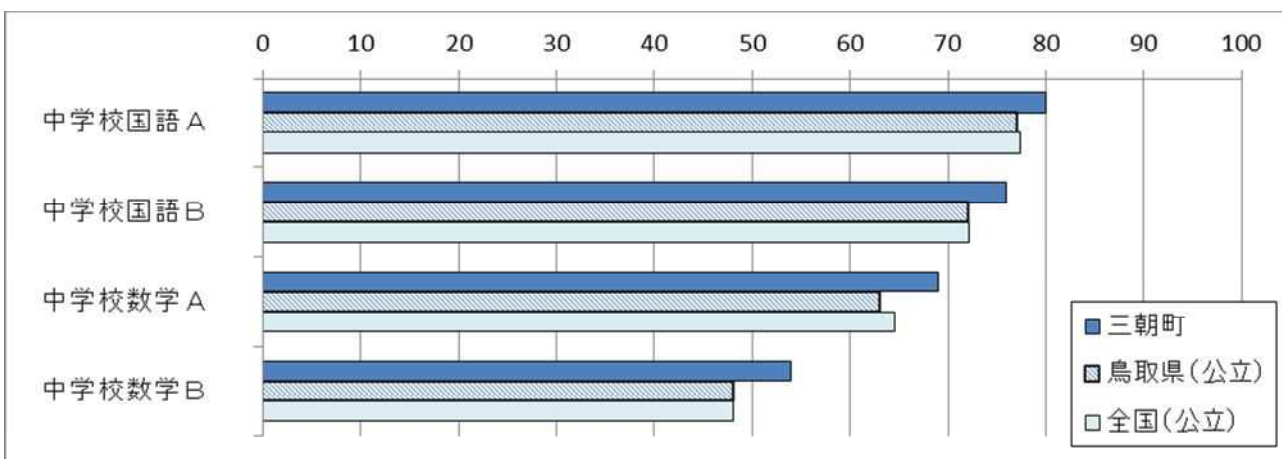
- ◇「地域に関心がある」児童の割合は、全国に比べ低い、「地域の行事に参加している」児童の割合は、全国に比べ高い。行事等を通して地域への関心を高める取組を進める必要がある。
- ◇教科に関する調査では、国語、算数のA、B問題すべてで全国を上回っており、知識・技能の定着、活用力の育成について良好な結果となっている。特に国語は、質問紙調査で「授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が高く、授業改善の取組が進んでいると考えられる。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

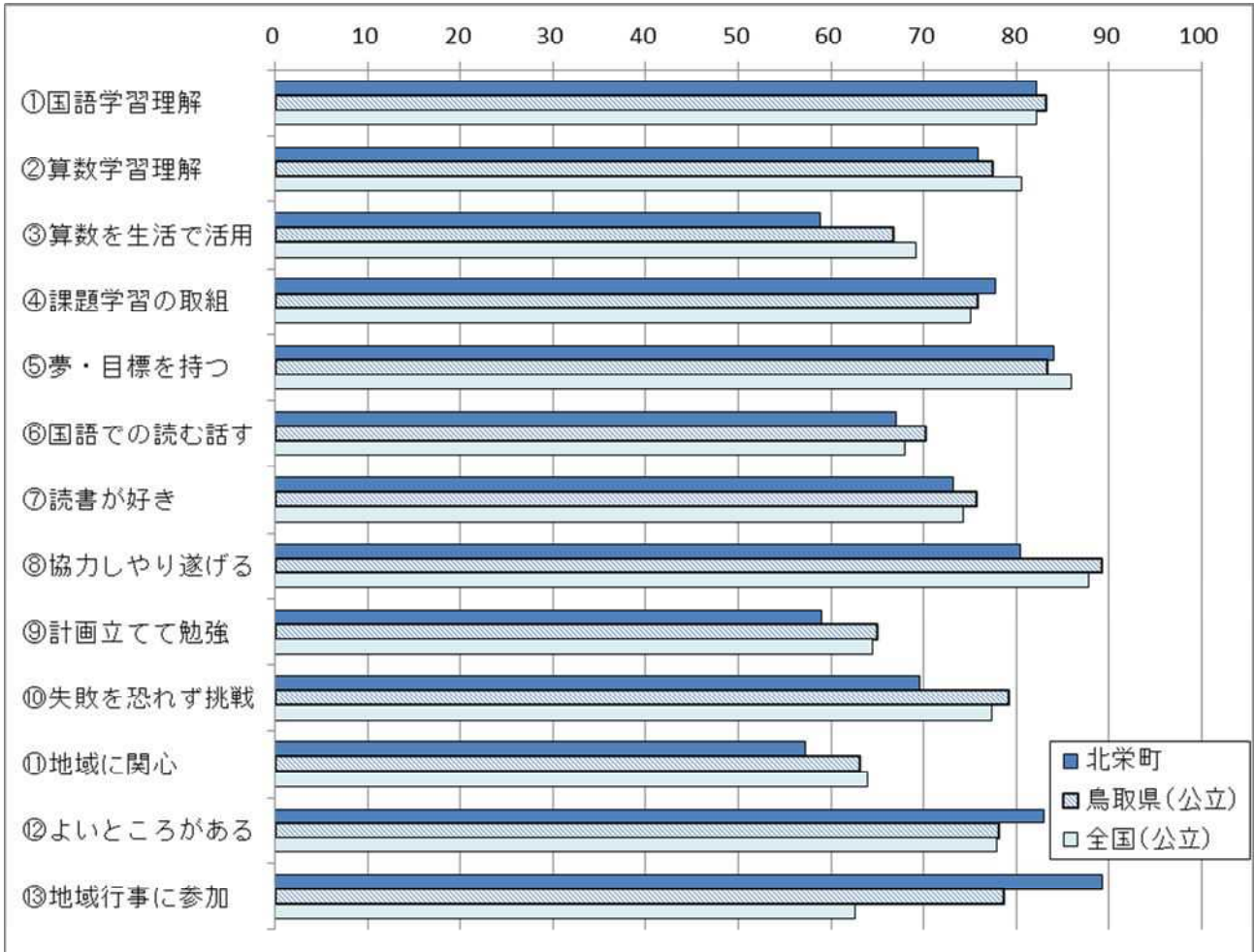


◇教科に関する調査では、国語、数学のA、B問題すべてで全国平均正答率を上回っている。質問紙調査において、国語の授業に関連する質問項目では望ましい回答の割合が全国に比べ高いのに対し、数学では低くなっている。潜在的に数学への苦手意識が強いことが予想される。
 ◇地域への関心も高く、行事への参加も多いことから地域との結びつきが強いと考えられる。

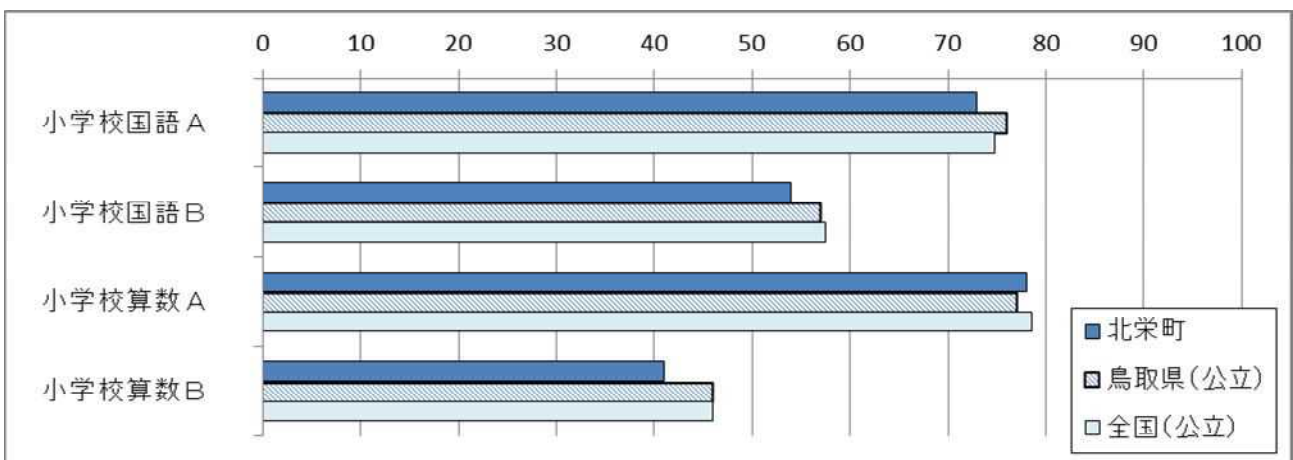
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

<小学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

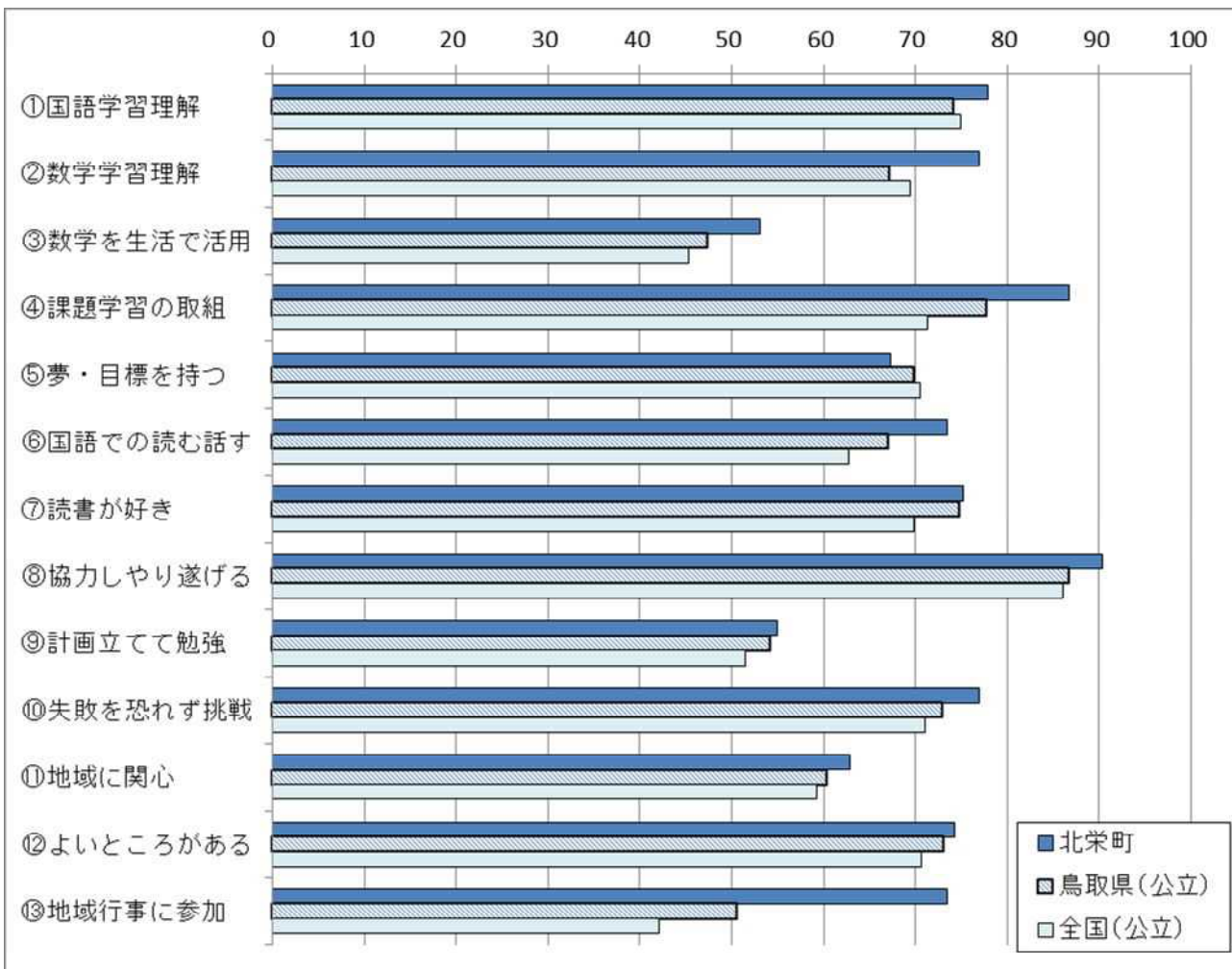


◇質問紙調査で「国語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合は全国と同程度だが、教科に関する調査では、国語はA、B問題両方で全国平均正答率を下回っており、児童の授業理解の回答と教科に関する調査結果に差が見られた。

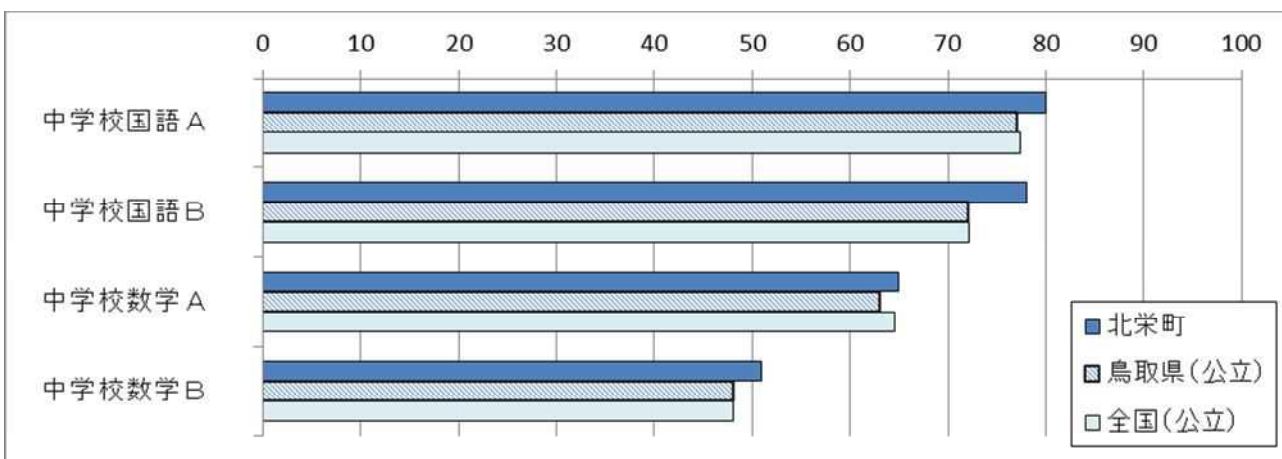
◇質問紙調査で「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が全国よりも低く、算数B問題で全国平均正答率を下回っており、算数については活用することに課題が見られた。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

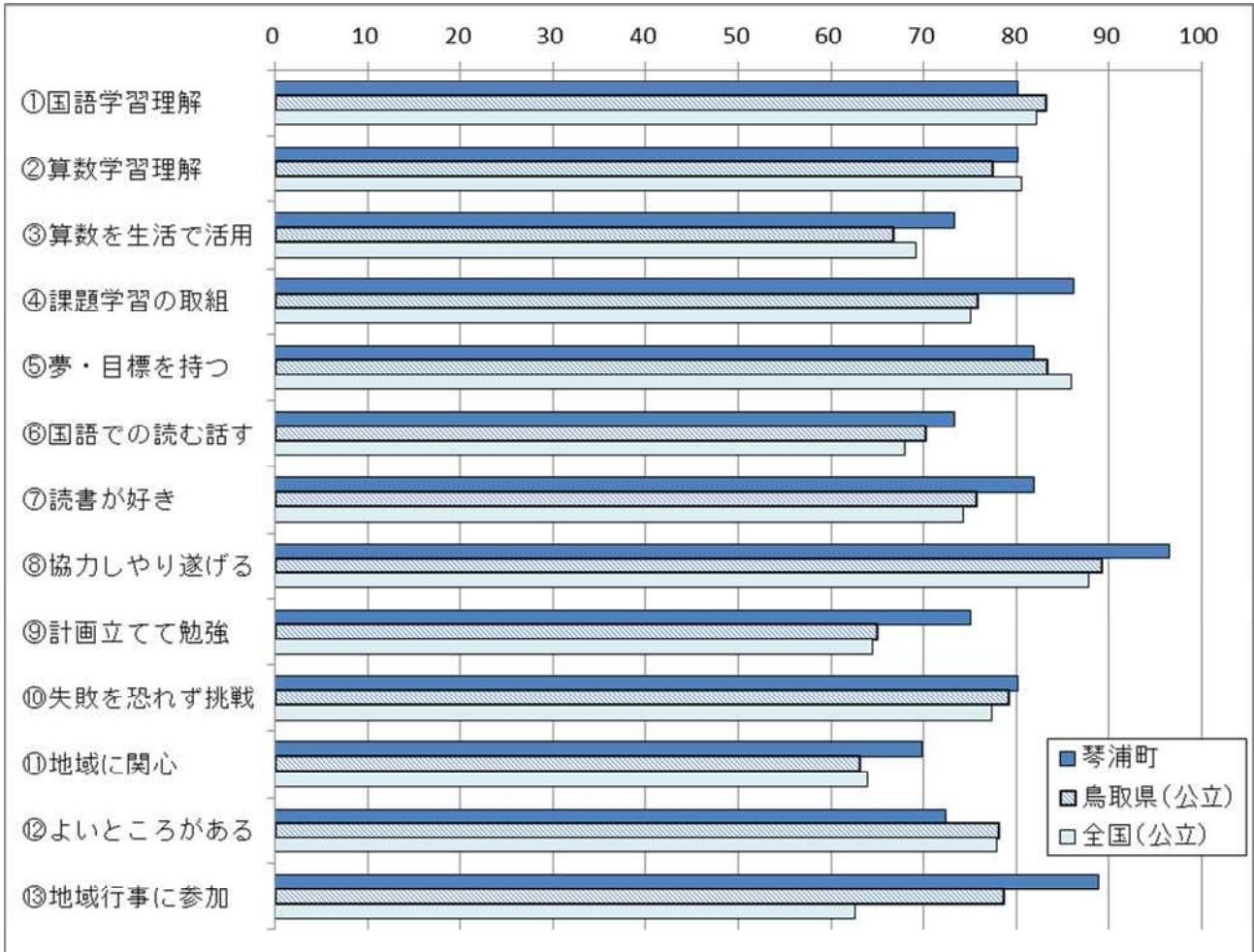


◇質問紙調査では、「夢や目標を持っている」以外の12項目で望ましい回答が全国に比べ高く、教科に関する調査で、国語A、B、数学Bで全国平均正答率を上回っており、いずれの調査においても良好な状況である。特に国語については、質問紙の回答、教科調査で成果が大きい。

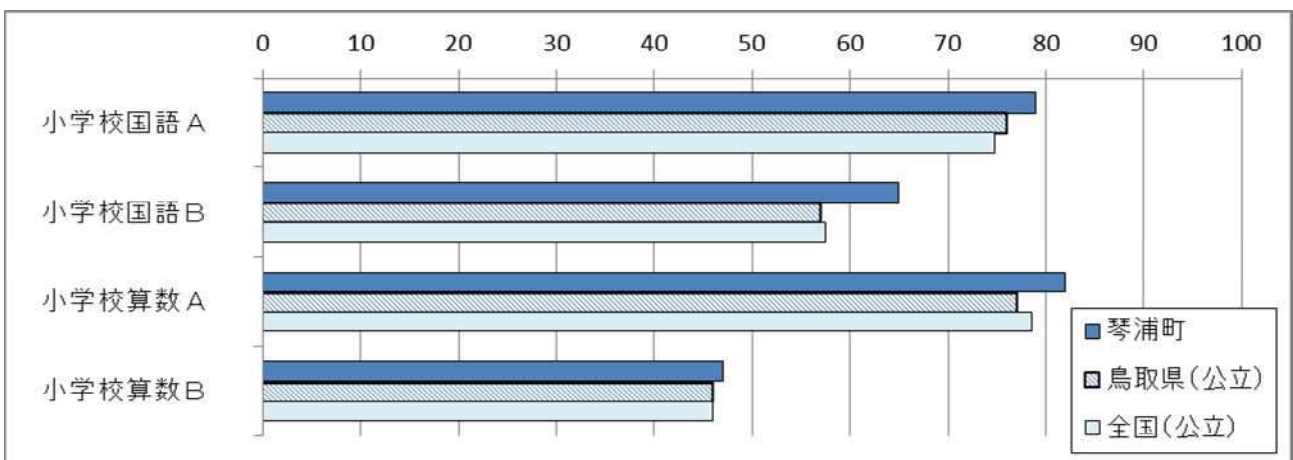
当該全国学力・学習状況調査情報については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

＜小学校＞

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査

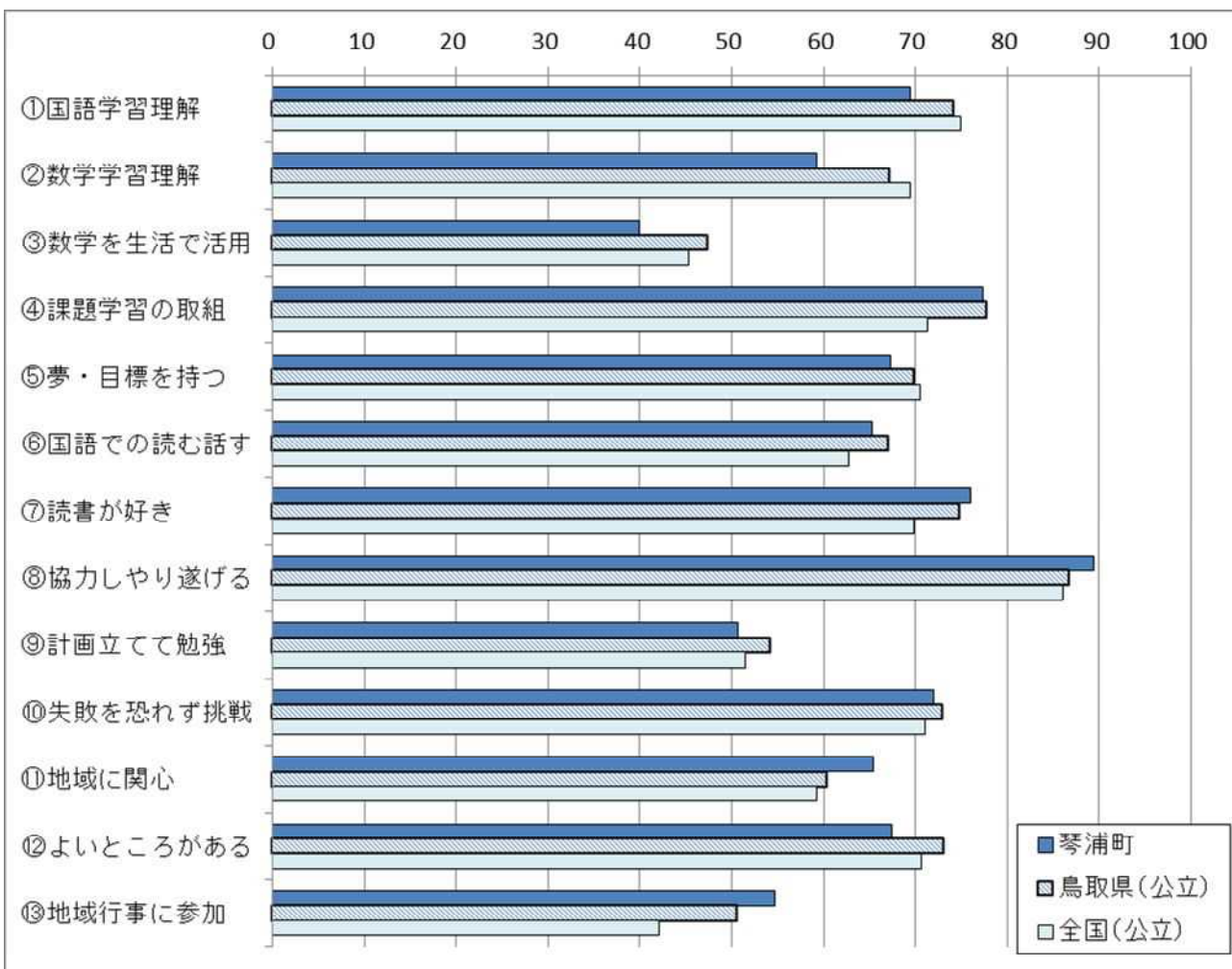


◇質問紙調査では、全国に比べ3ポイント以上好ましい回答が多かった項目が13問中8問あった。教科に関する調査では、国語、算数のA、B問題すべてで全国を上回っており、知識・技能の定着、活用力の育成について良好な結果となっている。

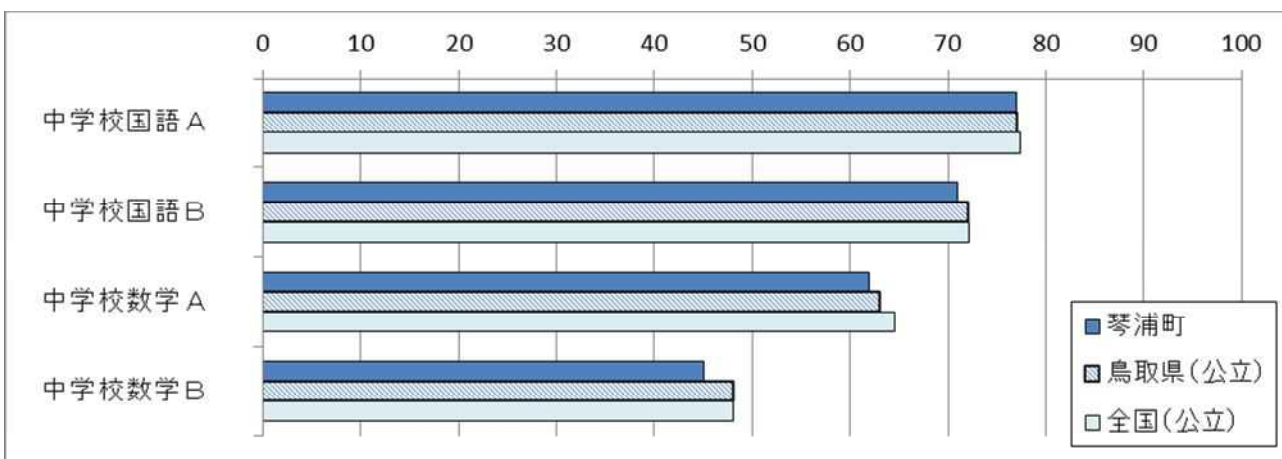
◇質問紙調査、教科に関する調査ともに良好な傾向にあり、特に④「課題学習の取組」⑧「協力しやり遂げる」⑨「計画立てて勉強」⑬「地域行事に参加」で、肯定的な回答の割合が高い。一方⑤「夢や目標を持っている」⑫「自分にはよいところがある」で肯定的な回答の割合は、全国に比べて低く、自己肯定感を高める関わりが必要である。

<中学校>

■質問紙調査（鳥取県の「教育に関する大綱」指標による）



■教科に関する調査



◇国語、数学ともに「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国に比べ低く、教科調査においても、国語B、数学A、Bで全国平均正答率を下回った。
 ◇質問紙調査では、⑪「地域に関心がある」⑬「地域行事に参加」で肯定的な回答の割合が高い。一方、⑤「夢や目標を持っている」⑫「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合も低く、目標を見いだせないことから自己肯定感が高まっていないことも予想される。